

# 平成30年度山形県港湾協会・酒田港湾振興会 合同総会が開催されました

6月8日（金）、酒田産業会館にて、山形県港湾協会（会長：吉村美栄子山形県知事）と酒田港湾振興会（会長：丸山至酒田市長）の平成30年度合同総会が開催されました。

総会の後に講演会が行われ、当事務所所長の玉石宗生が、「港湾をめぐる最近の動向について」と題して講演しました。講演では、コンテナ貨物が急増しているターミナルの岸壁延伸工事や洋上風力発電をめぐる動きについて、農水産物の輸出についてなど、最近話題となっているトピックスについて説明しました。

特にクルーズ船の寄港については、今年は外国人乗船者の割合が高いダイヤモンド・プリンセスが初寄港する、酒田港にとってのクルーズ船による「インバウンド元年」であること。今年のおもてなしが今後のクルーズ船寄港を左右する非常に大事な年であることを強調し、聴講されている皆さんにおもてなしへの協力を呼びかけました。

また、講演会の後には、今年度の「酒田港港湾整備事業（国・県）」と、「酒田港ポートセールス事業」について、国、県、“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会から、それぞれ説明しました。



会長挨拶を代読する若松正俊山形県副知事



挨拶をする丸山至酒田市長



合同総会の様子



講演をする玉石宗生所長

